

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表: 令和2年 3月 9日

事業所名 さわらび通所支援事業所

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			十分なスペースがある	
	2	職員の配置数は適切であるか	○			時間差で休憩するなど手薄にならないようにしている	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○				ご利用者の行動パターンに沿って、器材を移動するなど事前に危険を排除している
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○				各専門職員の取り組み幅を拡げている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				定期的なアンケートの実施により、頂いたご意見を各職員と検討し改善に繋げる
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				事業所のHPで公開する
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○				ISO 9001の認証を取得見込みである
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			さわらび療育園の研修に参加している	事業所内での研修も実施し、資質の向上を図っている
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか					今年度は利用者がいないが十分分析して作成するよう心掛けている
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			法人内各通所事業所で統一したアセスメント表を使用している	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			児童指導員を中心に取り組む	活動プログラムについてのアンケートを実施してご意見を立案に取り入れている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			児童指導員を中心に取り組む	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか					今年度は利用者がいないが細かく設定するよう心掛けている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか					今年度は利用者がいないが活動内容を十分検討するよう心掛けている
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				送迎対応の時間差により、開始前にできない場合は業務用連絡板の使用や口頭での連絡により確認し合い、日中の時間のミーティングで再確認している
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○				送迎対応の時間差により、終了後にできない場合は業務用連絡板の使用や口頭での連絡により確認し合い、日中の時間のミーティングで再確認している
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個人記録を作成して職員間で共有している	ミーティングの記録等も活用し支援に役立てている
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか					今年度は利用者がいないが、生活介護ではモニタリングし見直しを行っている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか					今年度は利用者がいないが、組み合わせでの支援を実施するよう心掛ける

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理 責任者が出席するこ とになっている	必要性があれば他職種にも出席を求める
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連 絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の 連絡)を適切に行っているか					今年度は利用者がいなかったが 新規の利用者受け入れに向けて学校 訪問や電話連絡をしている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ているか	○				連絡体制は整っている
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めているか					今年度は利用者がいないが、情報共有や相互 理解に心掛けている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行 する場合、それまでの支援内容等の情報を 提供する等しているか					今年度は利用者がいないが、情報提供は十分 に行うよう努めている
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けているか					今年度は利用者はいないが、法人内 児童発達支援センターとの連携は取っ ている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会があるか					今年度は利用者はいないが、療育園 の訪問学級等との交流も考えている
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 しているか		○			情報共有は行っているが、積極的な関 わりはないので今後は関りを深めたい
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っているか					今年度は利用者はいないが、保護者との 共通理解は図れるよう努めている
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っているか					保護者から相談を受ける中でアドバイ ス等を行うこともある	
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っているか	○			契約時に丁寧に 説明している	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行っ ているか					生活介護の利用者家族からの相談の 受付や専門職へ繋ぐこと等を行って いる
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援しているか					ご家族からの要望意見をお聞きして、必要 な場合はご家族同士の連携を支援する
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応しているか	○				苦情に対する体制は整っているため、 発生時には手順に沿って対応すること になっている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信しているか	○			療育園広報誌「はん の樹」の通所支援事 業所の欄に寄稿を 行っている	
	35	個人情報に十分注意しているか	○			法人の規程に沿っ ている	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしているか	○			連絡ノートには専門 用語の記載をしない等わ かりやすくしている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等 地域に開かれた事業運営を図っているか	○				ボランティア等を受け入れ、技能を活かし活動してい ただいている

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○			職員間では共有ができていますが、保護者への周知に努める
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			療育園と合同で実施している	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			療育園と合同で実施している	事業所内でも防止の意識を高めていけるよう機会を作る
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			放課後等デイでは実績はないが生活介護ではそのようにしている	拘束解除に向けて定期的な検討を行う
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				食物アレルギーに対しては医師の指示に基づき細心の注意を払って対応する
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			書面、PCどちらでも確認できる	事業所、療育園ともに報告、共有をしている

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。